

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 10-1-1	事務事業名 西原総合教育施設運営管理	所管部課 教育部 学校運営課
-----------------	-----------------------	----------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまちをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	西原総合教育施設を有効に活用して、児童・生徒の指導の充実並びに地域における社会教育及びスポーツ振興の推進を図り、また利用者が安心かつ快適に利用できるよう管理運営に努める。	根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	<p>当施設は、平成16年4月から、旧西原第二小学校廃校跡地に開設された施設である。市民開放施設として会議室・学習室等があり、一日3交代制の管理人(市嘱託員)が常駐しており、絶えず、施設の貸出業務に従事している。また、施設内には、シルバー人材センター、障害者の小規模授産スペース、適応指導教室、西東京市郷土資料室、にしはらスポーツクラブ等が混在しており、多数の組織が当施設を利用しており、施設内の清掃・用務・警備業務等民間委託に依頼している。休館日は、原則年末年始の6日間のみである。</p>	
	事業開始時期	平成16年度	実施形態

項目	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
事業費(A)		17,272	17,935	31,397	21,654
財源内訳	千円				
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債		0	0	0	0
その他 ()		1,853	1,514	2,285	1,109
一般財源		15,419	16,421	29,112	20,545
所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.17
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,374	1,388	1,309	1,400
臨時職員賃金等(C')	千円	6,534	6,747	6,450	6,694
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	25,180	26,070	39,156	29,748
単位当たりコスト(E)=(D)/(開館日数)	千円	70	72	109	83

活動等指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
①開館日数	実績値 日	359	360	359	359
②嘱託員延日数	実績値 人	1,077	1,080	1,077	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①指標として、年間の開館日数とする。					
成果指標	単位	22年度	23年度	24年度	25年度
一 会議室利用者延日数	目標値 人				
	実績値 人	11,164	11,736	10,003	
二 学習・自習室利用者延日数	目標値 人				
	実績値 人	2,666	3,442	2,989	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①、②の利用者とは、会議室・学習室・自習室のみの利用者であり各施設の利用者は、除外している。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	施設利用者が年々増加しており、多種の要望が提出されている。また、施設の経年劣化が進行し、修繕費の支出が増加している。	
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	近隣市において、廃校になった施設を他施設として利用している。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	なし

事業コード 10-1-1	事務事業名 西原総合教育施設運営管理	所管部課 教育部 学校運営課
-----------------	--------------------	-------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまをめざします。
---------------	-------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<p>当施設は、義務教育施設として国庫補助金等を充当し建設された小学校である。いわゆる補助金適正化法の規定により、教育施設等として運営を行っているが、財産処分の手続きに関して改正（平成21年3月）があり、建物処分の条件が緩和されたため、学校施設から他の施設への移行することは容易になった。</p> <p>しかしこの施設は、西原グリーンハイツの一団地の中の小学校施設ということで都市計画決定が行われているため、単独で他の用途施設としての活用することはできない。</p> <p>今後、建築物の老朽化等による建替などの時期を迎える施設（団地・学校・他施設）が生じてくると予想されるため、「一団地の住宅施設」を廃止し、「地区計画」の活用を図ることを検討することが考えられる。ただし、当地区については分譲型団地であることから、関係権利者との合意形成に時間を費やす可能性があるが、「地区計画」に移行し、「公共公益施設地区」等の位置付けを行えば、社会状況の変化等に応じて柔軟に施設活用を図ることができると考えられる。</p> <p>事業執行課としては、この間に清掃業務、警備業務及び用務業務を施設管理業務として一元的委託化を実施するなど、コスト削減に努力しているが、今後施設建物の老朽化による改修等が必要になってくると考えられる。</p>
	事業の必要性	1	
	事業主体の妥当性	1	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<p>施設の運営状況面では、地域のさまざまなニーズに基づく施設利用が行われている一方で、会議室や学習室・自習室の運営（利用率の向上）には改善の余地がある。</p> <p>また、施設の老朽化に伴い修繕費等の維持管理費が増加傾向であり、一層効率的な維持管理に努める必要がある。</p> <p>しかしながら、教育目的外の施設利用に制約があるなど、複合施設としての利活用が十分に成し得ない現状では、その改善策にも限度があると思われる。当該施設は、暫定利用という性格上、将来的にどのように取り扱うかについて、明確な方針が出ていない中、施設の存廃を含めた施策のあり方について、早急に見直す必要がある。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、旧西原第二小学校の建物・敷地を活用し、暫定的に教育施設等として運用しているものである。現状の利用については、市民利用スペースの活用促進について、向上の余地があるのに加え、施設維持管理についても可能な限り抑制に努められたい。</p> <p>ただし、これらの対応は、あくまで現状の利用に対してのものであり、今後の本施設のあり方によっては、多数の権利者との合意形成を含め、様々な調整が発生しうるものであることから、存廃を含め、本施設の今後のあり方について、全庁的な検討を経た上、明確な方針を打ち出すべきである。</p>